モデル建物法チェックリストの補足説明

H31.3

**1.　空気調和設備**

1.1.熱源効率

　計算書の熱源効率×2.71=設計建物の熱源効率

上記の式にて算出した設計建物の熱源効率が、基準一次エネルギー消費量の算定根拠に該当する用途の熱源効率及びメーカー資料等を確認し、問題ないかを確認する。

　※基準一次エネルギー消費量の算定根拠の熱源効率は、電気換算された数値であるため、一次エネルギー換算された計算書の数値に2.71を掛けて比較する。

**2.機械換気設備**

2.1.単位送風量あたりの電動機出力（W/（m3/h））

計算結果シートは以下の式で、室用途別に算出される。

　単位送風量あたりの電動機出力=Σ(台数×一台当たりの電動機出力)/Σ(台数×一台当たりの送風量)

標準的な数値との比較を行う際は、別紙のメーカー資料等の比消費電力も参考にできる。ただし、消費電力に対し、電動機出力が小さいことを考慮する。また、チェックリストに記載のZEH基準に関し、単相電力にて定められていることを考慮し、あくまで参考とする。

**3.照明設備**

3.1.床面積あたりの消費電力

以下の式で、室用途別に算出する。

　単位床面積あたりの消費電力=Σ(台数×消費電力)/床面積

標準室使用条件との比較を行う際は、基準照明消費電力と比較を行う。

**4.給湯設備**

4.1.熱源効率

　設計した給湯設備の仕様書等にて加熱能力、消費電力、燃料消費量を確認して以下の式で算出する。

　熱源効率=Σ{(定格加熱能力/(Σ定格消費電力×2.71+定格燃料消費量)×台数}

　※一次エネルギー換算するために、定格消費電力に2.71を掛ける。

　※電気温水器は、定格加熱能力と定格消費電力が同じになるため、熱源効率は0.37となる。（一次エネ換算）

一般的な熱源効率を別紙のメーカー資料等を参照して比較する。潜熱回収型の給湯器は0.9程度である。ヒートポンプ式だと、効率がいいもので1.6程度である。（一次エネ換算）